

取扱説明書

アングルカッター R40

R付き曲げ板鉄アングル用
マルチアングル(穴あきアングル)等の角部が丸いアングル専用

⚠ 注意

安全にご使用いただくために下記の事項を守ってください

- 刃部や可動部に指などを入れないで下さい。ケガをする恐れがあります。
- 切断した材料が飛散する場合があります。ゴーグル、軍手などの保護具を使用して刃部に近寄らないで下さい。
- 固くて水平な場所でご使用下さい。
- 能力以上のアングルを切断したりハンドルに無理な力をかけないで下さい。機械が破損したり思わぬケガにつながります。
- 可動部や取付部品が破損したり緩みのある場合は使用しないで下さい。

切断能力

曲げ板鉄アングル t3.2×L40まで (ステンレスアングルは不可)

これ以上のサイズのアングルを切断しないで下さい。また極端なサビ、泥などが付着した材料は機械の消耗を早めますので避けてください。

ご使用の前に

安定板の取扱い方法

安定板をセットすることで切断時にブレがなくスムーズに切断できます。



切断時

蝶ネジをゆるめて、安定板がベースパイプに対して垂直になるように回し、蝶ネジを締めてください。

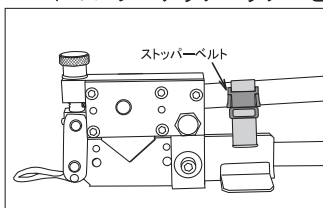


収納、持ち運び

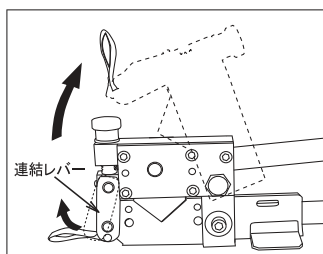
安定板をまっすぐに戻すことでスペースで車の荷台等に収納が可能になります。

使用方法

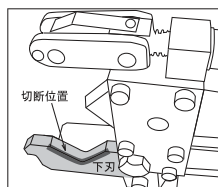
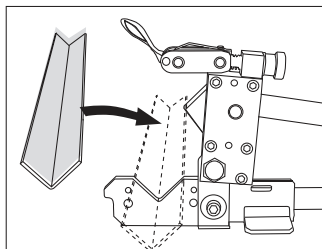
- ① ストッパーベルトのプラスチックバックルをはずして下さい。



- ② 連結レバーをはずして本体上部を持ち上げて下さい。

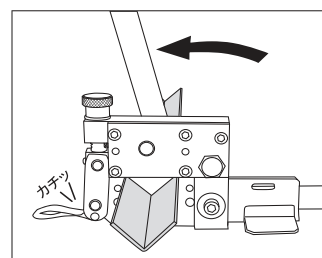


- ③ アングルを下刃にのせ、切断位置に合わせて下さい。(アングルが傾く場合は水平になるようセットして下さい。)

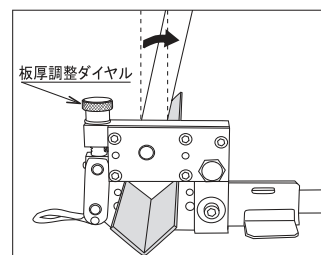


切断位置
ハンドル側から見て下刃左側

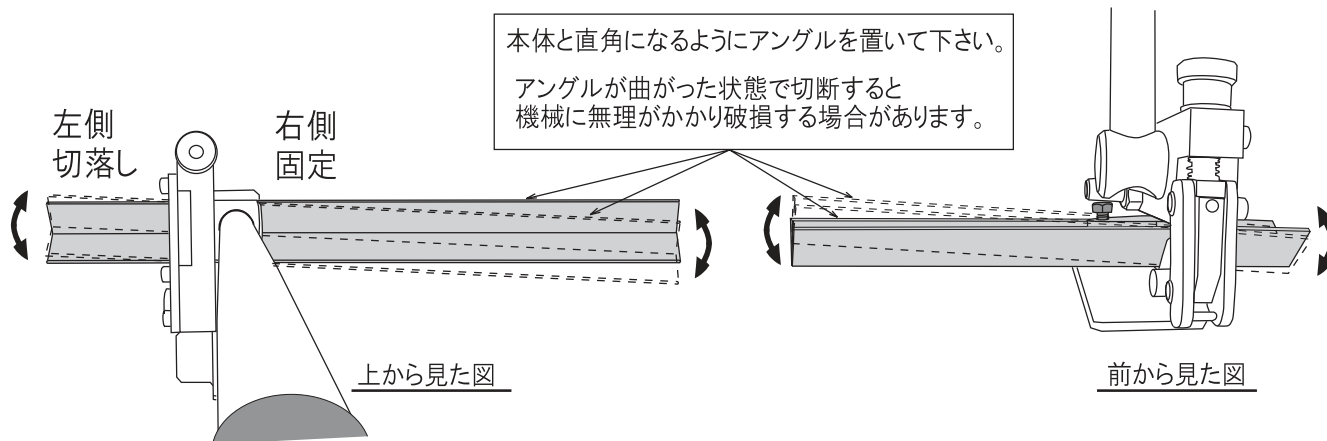
- ④ ハンドルを持ち上げて本体上部を下部と連結させ、連結レバーがカチッとかかるまでハンドルを直角よりも前にたおして下さい。(注意)指をはさまない様にして下さい。



- ⑤ 連結レバーがきちんと掛かっていることを確認して、ハンドルを手前に戻して下さい。ハンドルが直角よりも少し手前の位置で刃が当たるように板厚調整ダイヤルを回して調整して下さい。

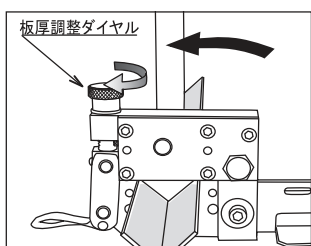


裏面もご覧下さい



⑥ ハンドルを下げて切断します。

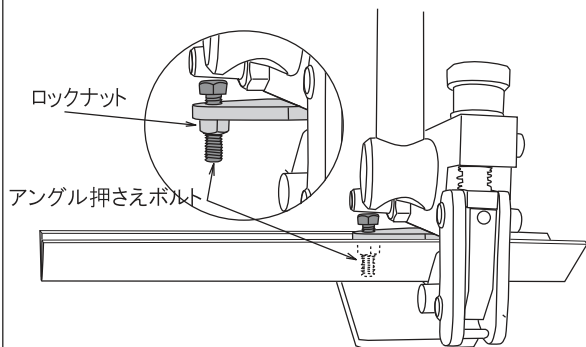
もし切断途中で必要以上の力をかけても切れない場合は切断を中止して下さい。無理に切ると機械が破損する場合があります。



ハンドルを最下点まで押し下げてもアングルが切れ残る場合は、アングルはそのままにハンドルを90度程度に押し上げ戻した後、板厚調整ダイヤルを時計回りに少し締めて調整してください。調整後、ハンドルを下げて切断してください。

⑦ 切断し終わったら連結レバーを外して、本体上部を持ち上げ材料を次の切断位置まで移動させてください。

同じアングルなら板厚調整ダイヤルの調整は不要です。本体上部と下部を連結させ、連結レバーが“カチッ”と掛かったことを確認し、ハンドルを下げて切断してください。



アングル押さえボルトに当たらない、短いアングルは切断しないで下さい。(正常に切断できず、刃も消耗させます。)

アングル切断時にアングルが上がらないよう押さえる役割があります。アングル断面が直角に切断できない場合や切断するアングル板厚を変更した際、アングルが水平であることを確認してください。水平でない場合はボルト長さを調整してください。(ロックナットをゆるめてからボルトを上下に調整して、ロックナットを締めて下さい。)

保管・調整方法

- ① 作業が終了したらストッパーをかけて雨やほこりのかからない場所に保管してください。機械の寿命を延ばすためにも定期的に可動部に注油やグリスの塗布して下さい。(CRC等の軽い潤滑油はグリスを流し去るため、かえって機械の消耗を早めますので使用しないで下さい。)
- ② 本体可動部のガタや遊びが多くなると切れ味や切断力に影響を及ぼします。可動軸のボルトを動きが悪くならない程度に締めこんでください。(緩み止めナットを使用していますので少々力が必要です。)

